

事例集の見方

ケース10（高等学校）

友人関係がきっかけで、リストカットをしてしまうB子

概要が簡単につかめるよう箇条書きで記入されています。

事例の概要

- ・高2女子。自分だけがグループから外されたと思い込み、仲の良かった友人と自分から距離を置くようになる。
- ・高1の時からリストカットが始まった。最近は、校内でも一度行った。
- ・……………
- ・……………

生じている課題の要因や背景の仮説が記入されています。

事例から考えましょう

①この生徒の状況をどのように見たらよいでしょうか？

- ・自尊感情が低くなっており、物事を否定的に捉えてしまう傾向があるのではないか。
- ・……………
- ・……………

指導の中心である学級・ホームルーム担任のかかわりのヒントが記入されています。

②ホームルーム担任としてどのようにかかわったらよいでしょうか？

【本人ができていることやよいところを言葉にして返す】
本人は自分のよさに目を向けることができにくくなっているため、具体的にできていること、よいところを言葉で本人に伝え確認する。特に進路目標の実現に向けて努力している点を応援する。

【友人との関係づくりについて一緒に考える】
友人とどのようにつきあっていったらよいのかについて、具体的なかかわり方や応答の仕方を始め、友人との距離の取り方、物事の受け止め方などを一緒に考える。

【 】

……………
……………

③校内における組織的な対応はどのように進めたらよいでしょうか？

支援策を話し合うメンバーが記入されています。
○はコーディネーター(小委員会の招集者)

【小員会のメンバー】

担任、副担任、教頭、学年主任、生徒指導主事、○教育相談係、養護教諭

現実的で評価しやすいことを念頭に置き、当面の目標が立てられています。

【指導目標】

自信を回復させ、リストカットの回数を減らす

チームで支援する際の役割分担がはっきりと分かるように表で整理されています。

【役割分担】(指導期間：○月○日～○月○日)

何をする	誰が	どのように
リストカット以外の方法を一緒に考える	養護教諭	リストカット以外の対処法を落ち着いている時に一緒に考える。
授業中の様子を伝える	教科担任	不安定な様子が見られたら、担任や養護教諭、次の授業担当者に伝える。
.....。。
.....。。

④⑤は保護者や他機関等との連携を図る際のポイントが記入されています。

④保護者との連携をどのように図ったらよいでしょうか？

【不安を十分に聞く】

どんな時が困るか、どんな点が心配か、具体的に話を聞くとともに、保護者の労をねぎらう。学校に対する要望などを丁寧に聞き、できる指導・援助を具体的に伝える。

【 】

⑤他機関等との連携をどのように図ったらよいでしょうか？

【医療機関との連携】

リストカットの状況が悪化する場合には……

全体を通しての補足内容やポイントなどが解説されています。

かかわりのポイント

リストカットの回数を減らすことそのものに注目しすぎてしまうと、「本人は……
.....
.....
.....。